

2022 年度 事業報告書

1. 総論

2022年度も新型コロナウイルス感染症のまん延が収まらず、日常生活や経済活動への影響が継続しました。このような中、当工業会は本年創立60周年を迎えました。この節目の年に事務所を移転した他、3年ぶりの対面での開催となった定時総会の後に60周年記念式典を実施いたしました。この他、60周年記念誌の発刊、ホームページのリニューアルといった記念事業を行いました。新年の賀詞交歓会につきましても3年ぶりに対面で開催することができました。

当工業会の主要事業である厨房設備通信教育ならびに厨房設備士資格認定制度の運営による技術者の育成、厨房設備機器展の開催、安全衛生の確保・災害防止を目的とした業務用厨房機器の標準化、統計資料の提供、月刊広報誌「厨房」の発刊などは、WEBセミナーやWEB会議を従来以上に活用することにより、平常時と同じ内容で実施いたしました。

厨房設備士資格認定試験については7月15日（金）に国内8箇所の会場にて試験を行いました。その結果、本年度は1級9名（合格率12%）、2級131名（合格率54%）が合格し、厨房設備士の仲間入りを果たしました。

第43回となる厨房設備通信教育については、2022年4月から2023年3月までの1年間にわたり163名が受講し、2月14日（火）・15日（水）に東京・名古屋・大阪・福岡の4会場で行われたスクーリングを経て109名（修了率67%、内優秀修了者77名）がコースを修了しました。優秀修了者77名は2級厨房設備士資格認定試験が免除されます。

資格認定試験、通信教育での厨房設備士合格者には、各企業ならびに業界でのさらなる活躍が期待されます。

厨房設備士資格保持者を主な対象としたフォローアップ研修会については、一般社団法人日本フードビジネスコンサルタント協会 畑理事長に講師をお願いし、「HACCPの考えを厨房計画に」をテーマにWEBでのセミナーを行っていただきました。2023年1月10日（火）より1ヶ月の間に、法人会員17社・個人8名よりお申込みをいただき、視聴サイトを通じて637回の再生回数となりました。

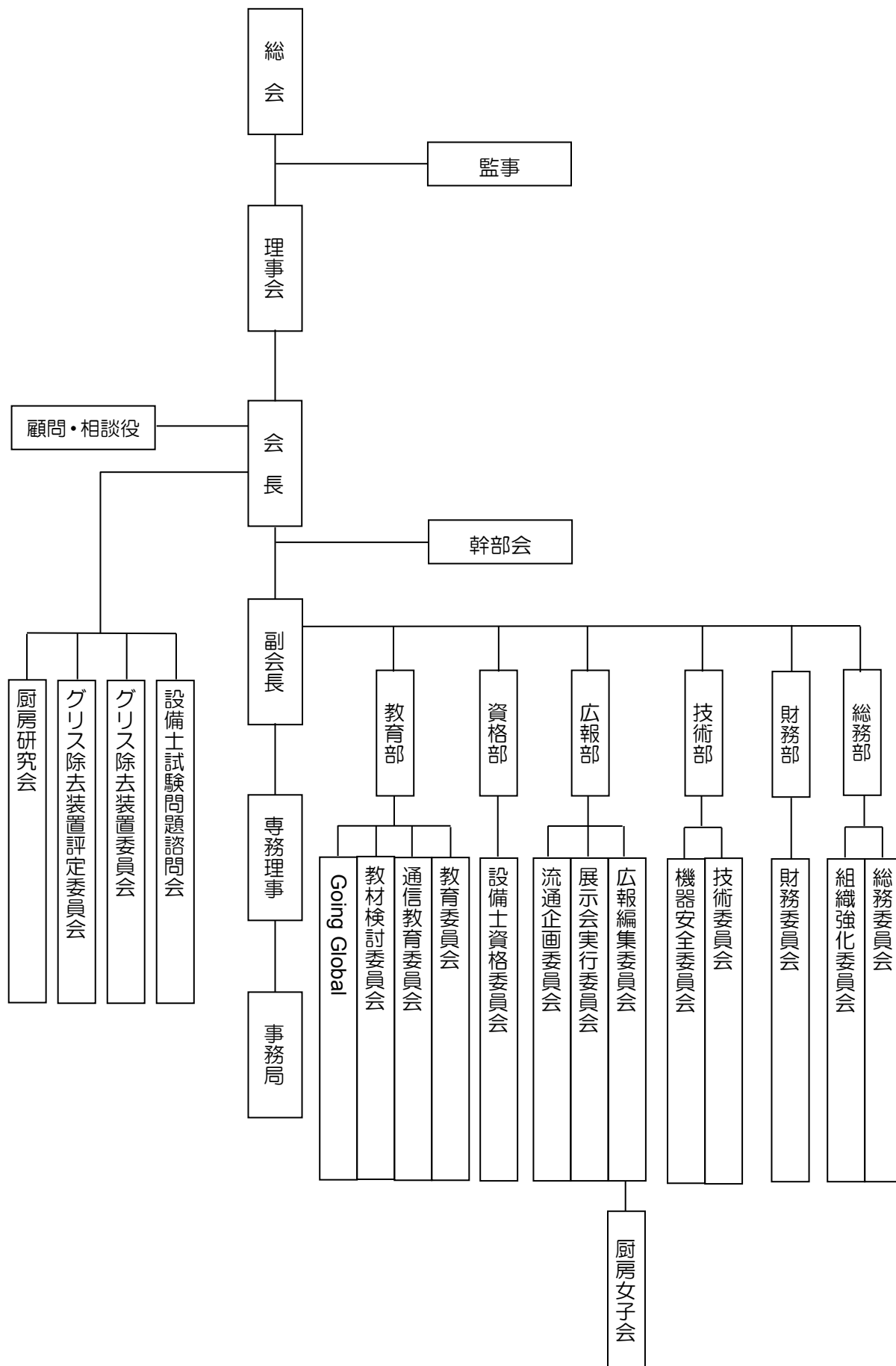
当工業会にて定めている「業務用厨房設備機器基準」への対象機器適合確認作業を行う自主検査員の養成講習会については、2023年3月16日（木）にWEBセミナー形式で行い、会員企業より19名が受講しました。これにより、自主検査員の総数は269名（2023年3月末）となりました。

総務省消防庁・東京消防庁と当工業会との間で協議ならびに実験を重ねた結果、10月にはスチームコンベクションオープンとグリス除去装置との離隔距離を緩和する通知が総務省消防庁より発出され、お客さまの厨房におけるスチームコンベクションオープンの設置がより柔軟に行えることとなりました。

第23回厨房設備機器展につきましても、2023年2月7日（火）から2月10日（金）にかけて東京ビッグサイト東展示棟にて開催いたしました。「新しい日常を支える ニッポン厨房最前線」のテーマのもと、会員企業58社（対前回2社増）が合計465小間にてそれぞれ工夫を凝らした展示を繰り広げました。引き続き感染症対策を十分に行った上での開催となりましたが、展示会全体の来場者数は46,457名となり、まん延防止等重点措置が発令される中での開催となった前回に比べ64%の増加となりました。会期中に開催された工業会主催セミナーについても、会員企業10社がお客さまの事業課題解決に役立つテーマにて講演を行い、セミナー参加者数は前回より87%増の726名となりました。

2023年の年明け以降、新型コロナウイルス感染症に一段落がつく状況となりつつあります。ウクライナ紛争の影響による部品供給の逼迫や原材料の高騰は継続していますが、当工業会は感染症終息を見据えた新たな視点で諸活動を行い、食文化の発展と業界の繁栄に貢献できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 会務運営機構



3. 事業の内容

◆総務部関係事項

【総会】

- 第 56 回定時総会 2022 年 6 月 15 日（水） 東京ドームホテル「天空」
- 第 1 号議案 2021 年度事業報告及び収支決算の承認の件
 - 第 2 号議案 2022 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認の件
 - 第 3 号議案 定款変更（案）の承認の件
 - 第 4 号議案 理事の選任の承認の件

【創立 60 周年記念式典】

- 日本厨房工業会創立 60 周年記念式典 2022 年 6 月 15 日（水） 東京ドームホテル「天空」
- ・ 歴代会長感謝状の贈呈
 - ・ 永年勤続役員感謝状の贈呈
 - ・ 永年勤続支部役員感謝状の贈呈
 - ・ 功労委員感謝状の贈呈
 - ・ 外部からご就任の功労委員に対する感謝状の贈呈
 - ・ 永年会員表彰状の贈呈
 - ・ 功労委員表彰状の贈呈

【理事会】

- (1) 第 1 回 2022 年 5 月 10 日（火） 芝パークホテル 2 階「アイビー」（WEB 会議併用）

◎審議事項

- 第 1 号議案 2021 年度事業報告及び収支決算に関する件
- 第 2 号議案 2022 年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件
- 第 3 号議案 理事の辞任に関する件及び新理事候補に関する件
- 第 4 号議案 内閣府への提出書類と手続きに関する件
- 第 5 号議案 定款の改訂に関する件

◎協議事項

- ・ 関連団体事業の協賛について
- ・ 理事会及び委員会等における遠隔会議の実施ガイドライン（案）について
- ・ 功労者顕彰規程改訂（案）及び表彰対象者について
- ・ 第 56 回定時総会と 60 周年記念式典の開催について
- ・ 2022 年度第 2 回理事会（移動理事会）の開催について
- ・ 2023 年新年賀詞交歓会について

- (2) 第 2 回 2022 年 10 月 19 日（水） ANA クラウンプラザホテル福岡 2 階「シャンパーニュ」

◎審議事項

- 第 1 号議案 会員の入退会に関する件
- 第 2 号議案 熊谷俊範氏の相談役推薦に関する件

◎協議事項

- ・第30期理事及び監事の選出について
- ・理事会開催通知のEメールによる送信について
- ・関連団体事業の協賛について
- ・2023年（令和5年）新春賀詞交歓会の開催について
- ・第57回定時総会の開催日と会場について
- ・2022年度第3回理事会及び2023年度第1回理事会の開催について
- ・その他について
 - ①関東支部移動理事会について
 - ②ステンレスメーカーの賛助会員としての加入について

◎移動理事会にて、理事会終了後に本部理事と九州支部会員との懇親会を実施。

ANAクラウンプラザホテル福岡2階「クラウン グランド ボールルーム」

(3) 第3回 2023年3月15日（水）

エッサム神田ホール2号館8階「スカイホール」（WEB会議併用）

◎審議事項

第1号議案 新規加入申込の承認に関する件

◎協議事項

- ・関連団体事業の協賛について
- ・海外視察の実施について
- ・2023年度事業計画（案）について
- ・第30期理事及び監事の選出について
- ・カーボンニュートラルに関する工業会資料の作成について
- ・東京ガス㈱横浜テクノステーションの見学について（説明事項）
- ・カーボンニュートラルに関する東京ガス㈱からの説明について（説明事項）
- ・2023年度第1回理事会の開催について
- ・第57回定時総会の開催について

【幹部会】

- | | | |
|---------|----------------|--------|
| (1) 第1回 | 2022年4月26日（火） | WEB会議 |
| (2) 臨時 | 2022年6月20日（月） | 書面審議 |
| (3) 第2回 | 2022年10月5日（水） | 工業会会議室 |
| (4) 臨時 | 2022年11月24日（木） | 書面審議 |
| (5) 第3回 | 2023年3月8日（水） | 工業会会議室 |

【総務委員会】

- | | | |
|---------|---------------|-----------------|
| (1) 第1回 | 2022年4月12日（火） | WEB会議 |
| (2) 第2回 | 2022年9月28日（水） | 工業会会議室（WEB会議併用） |
| (3) 第3回 | 2023年2月24日（金） | 工業会会議室（WEB会議併用） |

【新春賀詞交歓会】

2023年新春賀詞交歓会：2023年1月18日（水） 16：00～17：30

東京ドームホテル 地下1階「天空B」

出席者数218名（招待者54名、会員164名）

- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安全面に十分配慮して立食形式にて実施した。

【工業会事務所の移転】

関東厨房機器協同組合解散に伴い、東京都港区の厨房機器会館から、東京都千代田区に事務所の移転を行った。（移転日：2022年8月13日）

- ・新事務所所在地：東京都千代田区神田須田町2丁目2番地5 翔和須田町ビルⅡ 8階

◆財務部関係事項

【財務委員会】

(1) 第1回 2022年4月21日（木） WEB会議

- ・2021年度における収支決算について
- ・2022年度における収支予算（案）について
- ・電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程（細則）について
- ・事務所移転関連経費について

【監事会】

(1) 第1回 2022年4月28日（木） 厨房機器会館会議室

- ・2021年度事業報告及び収支決算に関する監査の件

◆技術部関係事項

【技術・機器安全合同委員会】

(1) 第1回 2022年12月8日（木） 工業会会議室（WEB会議併用）

- ・自主検査委員講習会（オンライン開催）について
- ・カーボンニュートラルの取り組みについて
- ・都市ガスの低燃料化に関するアンケートの協力をお願い
- ・ガス安全高度化計画2030について
- ・スチームコンベクションオープンにおけるグリッド除去装置との離隔距離について
- ・「消毒器」「殺菌庫」等、菌等の抑制に関する用語および試験基準について
- ・火を使用する設備等の評価方法及び防火安全対策に関する検討部会について
- ・一般財団法人日本ガス機器検査協会 業務用検査問題打合せ会について
- ・JIS原案作成分科会について
- ・JIS Z7161原案作成委員会について

【スチームコンベクションオーブンにおけるグリス除去装置との離隔距離について】

スチームコンベクションオーブンの設置時にオーブンの排気口（火源）とグリス除去装置の離隔距離の解釈について消防局との間に問題が多く発生している件について、総務省消防庁より10月3日に「コンベクションオーブンとグリス除去装置との火災予防上安全な距離の運用について」通知が出され、今後は条件を満たすものについては、グリス除去装置との火災予防上安全な距離を確保する必要はないこととなった。

【業務用厨房機器における「菌等」の抑制に関する用語の使用基準、それに類する試験方法および判定基準について検討を行うWG】

(1) 第1回 2022年5月11日(水) 厨房機器会館会議室（WEB会議併用）

今後は試験基準の原案を作成するサブWGを、タニコー株式会社、ホシザキ株式会社、株式会社マルゼンの3社をメンバーとして立ち上げることとなっている。

【JFEA 業務用厨房設備機器基準適合確認自主検査員講習会】

昨年度に引き続き、Zoomを使用したWEB配信を採用し実施した。

- (1) 2023年3月16日(木)
 - ・受講者数 : 19名
- (2) 登録状況（2023年3月）
 - ・自主検査員 : 269名

【JFEA 業務用厨房設備機器基準登録】

- (1) 登録状況（2023年3月）
 - 会社数 : 8社
 - 親型式 : 99機種
 - 子型式 : 2,608機種

【中小企業等経営強化法に係る固定資産税の軽減】

- ・2022年度証明書発行件数 1,161件

◆広報部関係事項

【広報編集委員会】

- (1) 第1回 2022年9月21日(水) 工業会会議室
- ・2021年度第2回広報編集委員会報告について
 - ・月刊厨房アンケート結果について
 - ・厨房女子会について
 - ・ホームページのリニューアルについて
 - ・月刊厨房表紙について
 - ・2022年新春対談について
 - ・月刊『厨房』連載内容・新連載企画について
 - ・月刊厨房連載の転載などのルールについて
 - ・カーボン・ニュートラルに関する内外向け周知パンフレットの作成について
 - ・広報編集委員における各支部(地方編集委員)への協力体制について
- (2) 第2回 2023年4月4日(火) 工業会会議室
- ・2022年度第1回広報編集委員会報告について
 - ・2023年新春対談について
 - ・月刊厨房表紙について
 - ・月刊『厨房』連載内容について
 - ・月刊厨房連載の転載などのルールについて
 - ・厨房女子会について
 - ・2024年新春対談について
 - ・広報編集委員における各支部(地方編集委員)への協力体制について

【月刊『厨房』の発行】

- ・厨房設備機器展を出展者・来場者へアピールする記事を7月号～2月号にかけて掲載し、機器展直前の2月号では工業会主催の各種セミナーの詳細を掲載し、来場者増加への支援を強化した誌面作りを行った。
- ・厨房業界向け連載企画としてかなざわ食マネジメント専門職大学 堀田宗徳教授の連載、広く一般を対象とした連載企画として、株式会社トータルフード 小倉朋子氏、斉田育秀氏のエッセイを掲載した。
- ・2022年度はSDGsについての連載記事に力を入れ、『ものづくり中小企業のためのSDGs入門』などの著書のある森健人氏による啓発記事を掲載した。
また、巻頭のヴィジュアル連載について小崎彩子氏による巻頭料理コミック漫画を新たに開始し、にしかわたく氏による会員企業等の訪問漫画については、中四国支部の出張取材と、当工業会の事業を紹介する記事作成を行った。
- ・新春対談に(一社)日本能率協会・丸尾智雅 産業振興センターディレクターを招聘し、対談を行った。

【『2022年度版会員名簿』の発行】

『2022年度版会員名簿』を2022年10月に550部発行した。

【『一般社団法人日本厨房工業会 六十年史』の発行】

『一般社団法人日本厨房工業会 六十年史』を2022年12月に650部発行した。

【ホームページによる広報活動】

工業会の各事業の情報を工業会会員企業だけではなく、一般向けにも理解しやすいようにリニューアルをおこなった。また、全体を通して、レスポンスデザインにしており、PC とスマートフォンで表示が切り替わるようにしている。

各種出版物の告知、厨房設備機器展、厨房設備士受験・通信教育の申込などの告知を行ったほか、官公庁からの告知要請に基づいた公告活動に協力を行った。

【厨房女子会】

新型コロナウイルス感染症のため、今年度の開催は中止となった。

【展示会実行委員会】

(1) 第1回 2022年8月24日(水) 工業会会議室 (WEB 会議併用)

- ・第1回企画委員会の報告について
- ・提案・要望に対する日本能率協会からの回答について
- ・来場動員グランプリの結果について
- ・第23回厨房設備機器展テーマについて
- ・日本厨房工業会ブース企画について
- ・主催セミナーについて
- ・その他について

(2) 第2回 2022年12月14日(水) 工業会会議室 (WEB 会議併用)

- ・第23回厨房設備機器展出展申し込み状況について
- ・第2回企画委員会の報告について
- ・展示会実行委員会から日本能率協会への問い合わせ(出展費価格改定)の回答について
- ・日本厨房工業会主催セミナーについて
- ・日本厨房工業会ブースについて
- ・印刷物について
- ・その他について

(3) 第3回 2023年3月24日(金) 工業会会議室 (WEB 会議併用)

- ・第22回厨房設備機器展の結果報告について
- ・日本厨房工業会主催セミナーの開催結果について
- ・バーチャル展示会でのセミナーのアーカイブ配信について
- ・バスの運行結果について
- ・第23回厨房設備機器展に対する各委員の意見について
- ・第23回厨房設備機器展収支と次回予算案について
- ・第23回厨房設備機器展について
- ・第24回厨房設備機器展工業会ブース企画案について
- ・第24回厨房設備機器展・日本厨房工業会セミナー企画案について

【第23回厨房設備機器展】

- (1) テーマ：「新しい日常を支える ニッポン厨房最前線」
- (2) 会 期：2023年2月7日(火)～2月10日(金)
- (3) 会 場：東京ビッグサイト 東展示棟1～8ホール
- (4) 出展社数：〔HCJ〕708社(前回 641社) 1,885小間(前回 1,634小間)
〔会員〕58社(前回 56社) 465小間(前回 474小間)
- (5) 来場者数：46,457名(前回 28,328名)
- (6) 工業会ブース企画
 - ・厨房設備士資格認定試験案内
 - ・厨房設備士資格認定試験問題
 - ・工業会案内パネルの展示
 - ・厨房女子会活動紹介
 - ・広報・周知(火災注意喚起、COに対する注意喚起、HACCP、補助金等)
 - ・衛生設備機器・省人化設備のカタログ紹介
 - ・会員コンシェルジュ
 - ・会員入会説明コーナー
 - ・書籍の配布

(7) 日本厨房工業会主催セミナー

テーマ：「新しい日常を支える ニッポン厨房最前線」

開催日：2023年2月7日(火)～2月10日(金)

実施企業：(株)コメットカトウ、タニコー(株)、東京ガス(株)、ニチワ電機(株)、(一社)日本エレクトロヒートセンター、(株)ハイサブウエノ、服部工業(株)、フクシマガリレイ(株)、(株)フジマック、(株)マルゼン

出席者数：726名(前回 389名)

(8) 日本能率協会のバーチャル展示会への出展と主催セミナーのアーカイブ配信等について

日本能率協会のWEB上で開催されているバーチャル展示会に、厨房設備機器展に出展した当工業会会員企業が参加するとともに、厨房設備機器展における日本厨房工業会主催セミナーのアーカイブ配信を実施予定。

また、会員企業は自社のホームページ等においても独自に厨房設備機器展における出展内容のアーカイブ配信等を実施している。

【流通企画委員会】

- (1) 第1回 2022年7月20日(水) 厨房機器会館会議室
 - ・実態調査実施スケジュールについて
- (2) 第2回 2022年11月18日(金) 工業会会議室
 - ・2022年実態調査報告書(案)について

【2022年版業務用厨房機器に関する実態調査】

- ・調査対象企業：会員企業221社・会員外企業77社
- ・調査実施期間：2022年8月19日～9月20日
- ・調査方法：アンケートによる自記式、メール回収法方式
- ・調査票回収状況：会員企業163社・会員外企業32社
- ・報告書発送日：2022年12月16日

◆資格部関係事項

【設備士資格委員会】

- (1) 第1回 2022年4月7日(木) 厨房機器会館会議室 (WEB会議併用)
- ・2022年度厨房設備士資格認定試験の実施計画について
 - ・2022年度厨房設備士資格認定試験の問題作成について
 - ・2022年度厨房設備士試験関係スケジュール(案)について
- (2) 第2回 2022年5月17日(火) 厨房機器会館会議室
- ・2022年度厨房設備士資格認定試験問題作成について
- (3) 第3回 2022年8月2日(火) 厨房機器会館会議室
- ・2022年度厨房設備士資格認定試験解答結果の採点(1級図面問題)について

【2022年度厨房設備士資格認定試験の実施】

- ・受験申請 : 2022年4月12日(火)～4月28日(木)
- ・受験講習会 : 2022年6月22日(水)～6月28日(火) (午前9時)
- ・試験日 : 2022年7月15日(金)
- ・合格発表 : 2022年8月12日(金)

[2022年度 厨房設備士資格認定試験 実施状況]

実施地区	申込者数			受験者数			合格者数			合格率		
	1級	2級	合計	1級	2級	合計	1級	2級	合計	1級	2級	合計
札幌	2	6	8	2	6	8	0	3	3	0.0%	50.0%	37.5%
仙台	6	21	27	5	18	23	0	8	8	0.0%	44.4%	34.8%
東京	46	116	162	43	110	153	4	56	60	9.3%	50.9%	39.2%
名古屋	4	20	24	4	18	22	1	10	11	25.0%	55.6%	50.0%
大阪	9	27	36	9	25	34	3	16	19	33.3%	64.0%	55.9%
広島	4	16	20	3	16	19	0	10	10	0.0%	62.5%	52.6%
高松	3	19	22	1	17	18	0	8	8	0.0%	47.1%	44.4%
福岡	9	35	44	7	31	38	1	20	21	14.3%	64.5%	55.3%
合計	83	260	343	74	241	315	9	131	140	12.2%	54.4%	44.4%

※上記合格者以外に、通信教育成績優秀者77名に対し2級厨房設備士資格を交付。

【技能検定への協力】

- (1) 中央職業能力開発協会に中央技能検定委員を派遣し、検定試験問題の作成に協力した。
- (2) 全国9会場にて講習会を実施した。
- (3) 各都道府県の職業能力開発協会からの依頼を受け、実技試験における検定員及び検定補佐員の派遣を行った。
- (4) 模擬厨房用電気機器を使用した実技試験について、当該機器の製造及び販売を行った。

◆教育部関係事項

【通信教育委員会】

- (1) 第1回 2022年10月7日(金) 工業会会議室 (WEB会議併用)
- ・第43回スクーリング実施について
 - ・第44回通信教育開講について
 - ・第44回レポート問題の統一見解及び執筆分担について

(2) 第2回 2022年12月7日(水) 工業会会議室 (WEB会議併用)

- ・第43回スクーリング問題検討について
- ・第43回スクーリング作図指導について
- ・第43回スクーリング実施方式について
- ・第44回通信教育レポート問題検討について

(3) 第3回 2023年3月6日(月) 工業会会議室 (WEB会議併用)

- ・第43回スクーリング実施について
- ・第43回スクーリング設計実技試験問題採点について
- ・第43回スクーリング実施結果について
- ・第44回通信教育レポート問題検討について
- ・2023年度厨房レイアウト作成未経験者向け講習会について

【第43回厨房設備通信教育の実施】

新入社員の方、「厨房設備士」の資格取得を目指す方、「厨房設備士」は取得済だが業務用厨房に関する知識・技能の向上を再度図りたい方を対象に、2022年4月から翌年3月までの1年間にわたり厨房設備通信教育を実施した。受講者数は163名であった。

また、2023年2月14日、15日の両日に東京、名古屋、大阪、福岡の4会場でスクーリングを開講し、128名が受講した。

3月6日開催の第3回通信教育委員会において、厳正なる審査の結果、修了者は109名、優秀修了者は77名となった。

なお、修了者には修了証、優秀修了者(2級厨房設備士資格認定試験免除者)には修了証、合格通知、2級厨房設備士登録関係書類を送付した。

【厨房レイアウト作成未経験者向け講習会の実施】

2022年9月9日に東京会場にて厨房レイアウト作成未経験者向け講習会を実施し、通信教育受講者のうち32名が受講した。

【教育委員会】

(1) 第1回 2022年4月22日(金) 厨房機器会館会議室 (WEB会議併用)

- ・2021年度厨房設備フォローアップ研修会結果について
- ・2022年度厨房設備フォローアップ研修会の開催について

(2) 第2回 2022年8月1日(月) 厨房機器会館会議室 (WEB会議併用)

- ・2022年度厨房設備フォローアップ研修会の開催について

【研修会実施内容】

〔テーマ〕 「HACCP の考えを厨房計画に」

〔講師〕 一般社団法人日本フードビジネスコンサルタント協会 理事長 畑 治 氏

〔内容〕 「衛生的な厨房づくりのポイント」、「衛生管理を意識した厨房レイアウト」、「厨房レイアウトの問題点と改善例」について（約1時間）

〔配信方法〕 ビデオセミナー（YouTube を使用）

〔視聴可能期間〕 2023年1月10日（火）～2月9日（木）

※期間内ならば、好きな時に何度でも視聴可能。

※法人申込の場合、視聴人数に制限はない。

〔申込者数〕 法人会員17社・個人8名

【教材検討委員会】

第1回 2022年5月13日（金）

厨房機器会館会議室（WEB会議併用）

・工学入門第9版 内容検討

◆特別部会関係事項

【設備士試験問題諮問会】

第1回 2022年5月27日（金）

厨房機器会館会議室（WEB会議併用）

・2022年度厨房設備士資格認定試験問題について

【グリス除去装置評定委員会】

(1) 第1回 2022年4月19日（火）

WEB会議

(2) 第2回 2022年6月6日（月）

WEB会議

(3) 第3回 2022年9月2日（金）

WEB会議

(4) 第4回 2022年10月31日（月）

WEB会議

(5) 第5回 2022年12月19日（月）

WEB会議

(6) 第6回 2023年2月27日（月）

WEB会議

- ・「業務用厨房設備に付属するグリス除去装置の技術基準」に基づき、グリスフィルター、グリスエクストラクター及びグリスセパレーターの性能テストを実施した。結果等を勘案し、グリス除去装置の認定の可否を行った。基準に適合したものについては、ホームページおよび月刊「厨房」誌に掲載のうえ周知に努めた。

[グリス除去装置認定ラベル過去の交付状況と前年度比]

2009年度	: 147,150枚	2016年度	: 180,600枚 (85%)
2010年度	: 171,210枚 (116%)	2017年度	: 218,180枚 (121%)
2011年度	: 163,550枚 (96%)	2018年度	: 187,500枚 (86%)
2012年度	: 186,820枚 (114%)	2019年度	: 182,600枚 (97%)
2013年度	: 207,240枚 (110%)	2020年度	: 131,800枚 (72%)
2014年度	: 220,050枚 (106%)	2021年度	: 137,800枚 (105%)
2015年度	: 213,130枚 (97%)	2022年度	: 134,015枚 (97%)